

介護福祉士 国家試験 受験対策の 活動を振り 返って



千葉県介護福祉士会

副会長 松下やえ子

介護福祉士が誕生して四年目の平成五（一九九三）年一月二十四日、小雪の舞い散る寒い日でしたが、発起人となった約五十名の介護福祉士が県内各地から松戸市民劇場大ホールに参集して、資質向上と自己研鑽を目標に千葉県介護福祉士連絡会の設立総会を開催して、早や二十九歳の歳月が流れました。翌、平成六年には千葉県介護福祉士会と名称変更、更に平成七年の日本介護福祉士会設立により、日本介護福祉士会千葉県支部となって、広報・研修・ブロック・イベントなどの役員体制の下で、研修委員となった私が入力して取り組んだことは介護福祉士国家試験対策でした。

筆記模擬試験と実技準備講習会

斎藤十郎厚生大臣の「人命、人権にかかわる重大な仕事である寮母にはそれ相應の教育と資格制度が必要である」という強い主張の下に誕生した介護福祉士国家資格でしたが、当時は資格取得に対する職場の理解も乏しく、国家試験に関する情報の少ない時代でした。

そうした状況のなかでも、歯をくいしばって国家試験にチャレンジする仲間たちを応援したいと、働きながら学ぶ苦勞と合格の

喜びを体験した役員たちで平成七年から始めたのが、筆記模擬試験と実技準備講習会でした。翌年には受験者交流会を開催し、合格者から勉強方法や使用した参考書・問題集を紹介してもらい、受験者の学習意欲の高揚につなげていきました。筆記模擬試験は当初、福祉教育カレッジ（二回）のみでしたが、平成十年からは中央法規（二回）も加え、日本介護福祉士会全国一斉模試と合わせて、年に五回の筆記模試が定着していきました。そうした中で高齢化の進展や介護保険制度のスタートにより、受験者数は年々増加しました。平成十一年に本会が事務所を持つまでは、自宅の電話FAXで申込み受付をしており、あつという間に感熱紙が無くなるという状況が続きました。平成十七年のピーク時には一回の受験者数が約五〇〇名となり、県社会福祉センターの全研修室と隣の経営者会館の研修室を借りても机が足りず、淑徳大学を会場にお借りしたという、今では考えられない盛況ぶりでした。

当時は、一次（筆記）試験の合格者が、二次（実技）試験に進むという試験方式でしたから、一次試験の合格者に対する実技試験対策として、前川美智子先生に実技問題を作っていただき、千葉福祉専門学校や県社会福祉センターを会場として、本番さながらの模擬試験会場を設定し、一人ひとりの実技を採点・指導していただく実技模擬試験に取り組みしました。平成十一年からは受験対策委員が模擬問題・チェックリストを作成し、県内各ブロックごとに実技模試を実施し、受験者のバックアップと同時にブロック会員相互の意思疎通・団結につながる活動となりました。しかし、試験制度の変更により、平成二十八年度からは実務経験ルーの実技試験がなくなりましたため、本会の実技模試も幕を下ろすことになりました。

たんぼの会と「かいこの教本」

受験対策を始めた当時は、医師や看護師資格と同様、介護福祉士や社会福祉士の合格者名も千葉日報に発表されていきました。私は毎年、千葉日報を買い求め、模試で関わった方の名前を確認し、ご本人からの「合格しました！」の喜びの連絡を待ったものでした。ある年、間違いなく合格が予想されていた受験者の名前が見当たらず、本人から喜びの報告もありません。その方が、「不合格」という事実を受け入れて、「実技試験で失敗した」と連絡があったのは二ヶ月ほどを経過してのことでした。その後、同じように実技試験で不合格という痛みを味わった十名程が集まり、「たんぼの会」を結成し、毎月県社会福祉センター五階の中研修室で熱心に介護技術の練習を続けました。メンバーたちは、次の実技試験で「合格」の二文字を掌中にしたのはもちろんですが、その後も弛まず、よりエビデンスに基づく介護技術の研鑽を重ね、実技模試への協力のみならず、千葉県介護福祉士会が派遣する介護技術（実技）講師として活躍の場を広げていきました。講師派遣においては、エビデンスに基づき統一した教本が必要ではないかという求めに応じ、それから三年近く（快互）の教本「初版の出版に至ったのです。同年九月には第二版、平成二十七年には改訂版、平成二十九年には改訂版の増刷をし、今でも多くの講師の方々が介護現場・介護家族に活用されています。



(続き)

赤マル福祉(eラーニング)との協働事業

平成二十二年(二〇一〇)年、「赤マル福祉」頑張ろう！日本の介護」を運営するジェイシー教育研究所様とのご縁をいただき、以降、事業委員会と協力して国家試験当日の科目分析、国試問題解説、更には模擬試験問題・解説作成の委託を請けることになりました。試験当日には毎年、募張メッセ等の試験会場近くで、受験対策委員や協力会員が赤マル福祉のスタッフとともに、直前チェック・本会入会案内・eラーニング自動採点案内を入れたクリアファイルを手渡ししながら、受験者にエールを贈っています。また、その日の夕方から深夜にかけては、受験者に提供していただいた国試問題をもとに、会員が分担して十三科目の科目分析を行い、翌日から三月末にかけては百二十五問(六百二十五選択肢)の解説作業に取り組みます。解説は単なる正誤の表記ではなく、設問の周辺知識まで盛り込んだ詳しい内容となっており、これから資格取得を目指す方の過去問トレーニングとして、非常に学習効果の高い内容であると自負しています。その後、六月〜九月にかけては、傾向と対策を加味した模擬試験問題・解説の作成に取り組みます。完成した模擬試験問題はeラーニング「赤マル福祉」および、ご厚意により、本会が直前模試として活用させていただきます。さらに昨年からは、模擬試験の解説動画や各科目のワンポイントアドバイス原稿作成の委託も請け、各種コンテンツへの協働の機会が拡大しています。にもかかわらず残念なことは、「赤マル福祉」と協力会員の思いの詰まったこれらコンテンツの利用者数があまりにも少ないことです。是非、会員の皆様からお知り合いの受験者にご案内いただきますようお願い致します。



試験当日、会場の最寄り駅前で応援する様子
↑2021.1.31 ↓2022.1.31



受験対策の活動の意義

振り返れば、受験対策の活動は二十七年を超え、養成カリキュラムの改正、国試制度の変更、更には時代の学びスタイルの変化に合わせて、試行錯誤の連続でした。しかし、この受験対策の活動に関わる私たち会員は、常に原点に立ち返らせて頂いていると感じています。

平成二十九(二〇一七)年の報告書「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて」を受け、求められる介護福祉士像・教育内容の見直しが行われました。国試問題の解説や模擬試験問題作成等の受験対策の活動に参加することは、後進育成への寄与であるとともに、執筆料を得ながら、自らが時代の求めに即応した介護福祉士であり続けるために、とても有効な自己研鑽の術であると確信しています。

あなたのご参加もお持ちしています！



研修・イベント予定	日程	会場	定員	参加費	申込期日
 研修委員会/君津安房ブロック共催 「介護職対象 認知症専門職研修 初級」(2日間)	令和4年 4/9 (土) 4/24 (日)	千葉県社会福祉センター	30名	会員 準会員：6,000円 非会員：10,000円	令和4年 3/31 (木) ※定員になり次第締め切らせて頂きます。
研修委員会 「サービス提供責任者 研修」(6日間)	令和4年 5/14 (土) 5/21 (土) 6/12 (日) 6/26 (日) 7/10 (日) 7/17 (日)	千葉県社会福祉センター	20名	会員 準会員：22,000円 非会員：35,000円	令和4年 4/28 (木) ※定員になり次第締め切らせて頂きます。



「千葉県介護福祉士会 災害ボランティア基礎研修」を開催しました。はじめに、熊本地震の際に、行政と連携しながら熊本県及び全国の介護福祉士をはじめとするマンパワーをマネジメントし、被災者でありながら、多くの県民を全力で支えた、現熊本県介護福祉士会石本淳也様にご講演いただきました。

研修報告
令和4年2月6日
 総務委員会主催
「千葉県介護福祉士会災害ボランティア基礎研修」



千葉県介護福祉士会
 副会長 佐藤武秀

石本様の行動力、介護福祉士会の仲間と行政をたぐりながら、SNSを活用した発信力に、受講者も感動し、これから、災害に備えて職場や地域で、一人ひとりが行動するための知識とエネルギーをいただいたと感じました。

研修会には、災害救援ボランティア派遣協定を締結している千葉市、船橋市、市川市、松戸市の職員様にもご参加いただき、行政と専門職とで地域の災害対策を進めていくために、エリア分けしたグループで意見交換を行いました。

課題は多く、まだ、スタートラインに立てた段階ですが、大規模災害に備えて、地域で活動できるマンパワーを増やしていくために、行政の皆様と協同で研修会、実地訓練を開催していきたいと考えています。

災害救援ボランティアに関心のある介護福祉士の方、千葉県介護福祉士会のホームページをご覧ください。

災害救援ボランティア募集!

千葉県介護福祉士会は、千葉市、市川市及び船橋市と災害時支援協定を締結し、災害時に「災害救援ボランティア」を派遣することになりました。今後、他の市区町村とも協定締結を増やしていきたいと考えています。

※松戸市及び習志野市は、日本介護福祉士会が協定を締結しています。

**被災地には、私たちの「知識・技術」を必要としている人たちがいる
 被災者になる可能性は、誰にでもある
 お互いを守るために、ひとり一人の力が必用です**

◎ボランティアに参加する前に（日本介護福祉士会 災害ボランティアマニュアル参照）
 ボランティア活動はあくまでも自発的（自発性）な活動であり、義務でも強制でもありません。個人個人の自由な意志により、形式、場所、時間、行動するものがです。ただ個人の意志により行動するにしても、自己の利益を目的とするのではなく、利他性が求められ、その活動や目的が社会に関わったものである必要があります。さらに「無償性」「継続性」といった要件も求められます。

ボランティアの原則
 ① 自発（自主）性→自由意志で行うこと
 ② 無償（無給）性→利益を求めないこと
 ③ 利他（社会）性→会社と利害を争わず他人の幸福を願うこと
 ④ 先願（命題）性→必要に応じて工夫すること

【募集について】
 ■要 件：会員及び会員の推薦を得た方（年齢不問）
 ■支援内容：介護全般・健康体操・マッサージ・レクリエーション・アロマセラピー・福祉等
 ■経 費：交通費・宿泊費は実費負担（宿泊が滞り等の場合は除く）
 ■活動 日：可能な範囲（被災地では「継続性」が求められますので、複数日の活動ができることが望ましい）
 ※登録者～活動実地まで必要事項はありますので、安心して登録してください。

福祉避難所

【申し込み】
 別紙「災害救援ボランティア活動登録カード」に必要事項を記入の上、下記事務局へfax又は郵送してください

【問い合わせ】
 一般社団法人千葉県介護福祉士会 事務局 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター3F
 ☎043-248-1451 FAX043-248-1515
 E-mail: kai@nijij@poem.ocn.ne.jp URL: http://care-net.biz/12/kai/shiba/

研修・イベント予定	日程	会場	定員	参加費	申込期日
キャリアアップ支援委員会 「介護福祉士基本研修」 (4日間)	令和4年 5/28(土) 6/4(土) 6/18(土) 6/25(土)	千葉県 社会福祉 センター	20 名	会員： 14,000円 非会員： 27,000円	令和4年 5/19 (木) ※定員になり次第締め切らせて頂きます。
「令和4年度 一般社団法人 千葉県介護福祉士会 通常総会」	令和4年5月22日(日) ※詳細は4月の発送でお知らせします。 当日の出欠と委任状を必ず返信くださいますようお願いいたします。				

千葉県介護福祉士会 会員数

2022年3月1日現在 **677** 名

東葛ブロック	180	名
千葉ブロック	134	名
北総ブロック	171	名
君津・安房ブロック	66	名
東部ブロック	85	名
南部ブロック	41	名

事務局だより



一般社団法人 千葉県介護福祉士会

〒260-0026
千葉市中央区千葉港4-3
千葉県社会福祉センター3階
TEL: 043-248-1451
FAX: 043-248-1515

○事務所の電話受付
月～金曜日、9～16時とな
っております。時間外及び土・日・
祝日に開催される研修会等のお
問い合わせについては、留守電
にて対応しております。どうぞ
よろしく願いいたします。

E-MAIL :
kai5niji@poem.ocn.ne.jp



ホームページ :
[http://care-
net.biz/12/kai5chiba/](http://care-net.biz/12/kai5chiba/)



↑↑↑

こちらから研修時の感染予防対策や
健康チェックシートを印刷できます。

編集：広報委員会・広報委員長
知りたい情報等がありました
たら、上記メールアドレス
にお知らせください！



<https://www.facebook.com>

/千葉県介護福祉士会-1866986893408630/



賛助団体 八団体（敬称省略）

- ・社会福祉法人 生活クラブ
 - ・生活クラブ風の村 特養ホーム八街
 - ・社会福祉法人 翠耀会
 - ・特別養護老人ホーム グリーンヒル
 - ・東洋羽毛北関東販売 株式会社
 - ・社会福祉法人 九十九里ホーム
 - ・障害者支援施設 聖マーガレットホーム
 - ・社会福祉法人 広寿会
 - ・特別養護老人ホーム いすみ苑
 - ・株式会社 ジェイシー教育研究所
 - ・社会福祉法人 オリリーブの樹
 - ・オリリーブハウス
 - ・医療法人社団 一心会 初富保健病院
 - ・初富保健病院介護医療院
- 承諾を得て団体名を掲載させて頂きました。
いつも本会運営についてご理解、ご協力を頂きま
して、心より感謝申し上げます。

各ブロックや委員会
活動にご協力頂ける仲
間を随時募集しており
ます。職場だけではな
い繋がりもでき、視野
が広がります。可能な
範囲での協力で構いま
せん。
是非、気軽に参加を
お願いいたします。ま
た皆さまの周囲に入会
を希望される方がい
らっしゃいましたら、
お誘い頂けますよう宜
しくお願いいたします。